

第5回 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 議事要旨

◆日時 平成30年7月27日（金）午後2時00分～午後4時40分

◆会場 南あわじ市役所本館3階 304・305会議室

◆出席者 委員：8名

松坂委員（委員長）、碓委員（副委員長）

伊吹委員、金沢委員、喜田委員、鈴木委員、谷池委員、野上委員

事務局：4名

総務企画部付部長、ふるさと創生課長及びふるさと創生課担当2名

傍聴者：1名

◆会議の概要

1. 開 会 委員長及び事務局から開会の言葉

異動職員紹介

○ 事務局から着任あいさつを行った。

2. 協議事項

協議① 南あわじ市総合戦略の内部評価結果等について

協議② 地方創生交付金を充当した事業の評価検証について

○ 事務局より協議①～②について、内容説明等を行った。

【委員の主な質問・意見・評価】

協議①について

夢プロジェクト事業

- ・委員：以前は多くの学校で開催されたが、平成30年度より県の補助事業が始まり、開催予定校数は中学校3校と小学校4校と少数になっているが、開催のない学校もあるということか。開催する学校のまわり方は変更されたのか。開催できない学校の子供がかわいそうである。

⇒事務局：単年度中で全ての学校の開催はできないが、順番を決めて対応をしています。県補助事業となり、確認は出来ていませんが、まわり方も変更されていると思われます。

田舎暮らしの促進

- ・委員：平成29年度における田舎暮らし相談件数の実績値が454件となっているが家族構成はどうなっているのか。

⇒事務局：相談対応の中で、家族構成についても確認させていただいていますが、回

答は任意ですので、全て把握できているわけではありません。相談に来られる方は、移住定住目的の相談者に限定すると年齢層は20代～30代の若い方もしくは60代以降の方に二極化されている傾向があります。家族人数としては2人から3人が多いように見受けられます。

- ・委員：田舎暮らし相談窓口件数と空き家バンクの活用件数の実績値の伸び率に開きがあるが、この数値はリンクしないのか。

⇒事務局：相談に来られる方は、マイホーム取得補助金についてなど、他の要件で来られる場合もあり、連動しにくいものです。

また、空き家バンクについては、これまで活用できる空き家に十分な件数がありませんでしたが、昨年市内において、空き家の調査を実施しており、活用可能な空き家の所有者に対して、空き家バンクに係る案内をしたところ、約150件の資料送付希望があり、約15件程度の登録申込みがありました。

最近では都心部で田舎暮らしの相談窓口を設ける際、「南あわじ市」としてでは知名度に欠けるため、淡路3市連携し「淡路島」としてPRしており、相談件数も増えてきており、空き家バンクの活用についても加速させていきたいと考えています。

自主防災育成事業

- ・委員：危機意識に地域差がある。防災訓練の報告方法についても形式的なものではなく、内容を重視したものに变更しようとしている。これにより意識も変わってくることを期待する。
- ・委員：高校生の防災訓練への参加が少ないように思える。
- ・委員：高齢者の訓練参加率も芳しくなく、地域づくりの観点からもアプローチが必要。

地場産業等後継者育成事業補助金

- ・委員：地場産業とは具体的にどんな事業を示すのか。
⇒事務局：瓦産業および素麺産業などの事業を指します。当該補助金は瓦ぶき等の技能習得に係る講習会等に係る補助金となっています。

観光交流人口の拡大

- ・委員：評価指標に対し、実績値が低く見受けられるが、A判定で正しいのか。
⇒事務局：総合戦略作成時に補助対象として、合宿誘致を見込んで制度化されましたが、名称の変更がないまま合宿客を含めない、一般観光客を対象とした現行制度に見直されました。実績値はこの見直された補助金制度を活用された人数となっており、合宿客を含めていた当初の指標と比較する

と少ない数値となっておりますが、現行制度の実績値としては、概ね期待通りの数値となっております。今後指標については担当課にて見直しを検討します。

Wi-Fiスポットの接続者数

- ・委員：具体的にどの程度整備されているのか。
⇒事務局： イングランドの丘、陸の港西淡等に整備されており、来年度以降、整備個所を増やしていく予定です。
- ・委員：Wi-Fi環境を活かし、QRコードを読み取り、タブレット端末等でコアラの夜の映像を見られる等のサービスがあっても面白いのではないか。
- ・委員：海外の観光客は特にWi-Fi環境を重宝する。パンフレットを含め、多言語化対応を進めていくべきである。

ASAトライアングル（南あわじ・鳴門・東かがわ）を結ぶ、サイクリングツーリズム推進事業

- ・委員：交流人口における数値目標は何の人数を指すものか。
⇒事務局： 他市との交流人口を数値目標としたものの、具体的な数値として計る術がなく、鳴門市までの自転車輸送を実際に利用された人数を実績値とさせていただいておりますが、評価を下回る結果となっており、事業内容については担当課より見直すと聞いております。
- ・委員：運送手段は見直す予定はないのか。
⇒事務局： 変更する計画は現状ありませんが、鳴門海峡大橋の橋桁下空間を自転車や人の通行が可能か構造調査を進めており、調査の結果、自転車等が通行できるようになれば、飛躍的に行き来する人が増加することが期待されています。

安心して学べ、安全に子育てできるコミュニティづくり

- ・委員：公民館は貸館業務が中心になっていると思われるが、キッズスペースを阿那賀公民館に設置するという内容について、これは貸館業務としての一環なのか、一般者向けの講座のようなサービスを開催するという意味合いなのか。
⇒事務局： 阿那賀公民館は小学生が多く集まるという実情があり、貸館ではなく、子供たちの勉強の場等に利用いただくことを想定しての整備です。

協議②について

各事業評価の説明までとし、以降については継続審議とした。

4. その他

次回総合戦略検証委員会日程について

- 事務局より、次回の委員会日程について説明を行った。

5. 閉 会

- 閉会にあたり、碓副会長よりごあいさつをいただいた。

以上